

「にしお農業塾」入講式・卒講式 7月3日開催

新たに9期生4人が入講し、
産直出荷めざして露地野菜栽培学ぶ



JA西三河と西尾市は7月3日、新規就農希望者向け露地野菜栽培講座「にしお農業塾」の入講式・卒講式をJA西三河あぐりセンター小牧で開きます。

今年は9期生となる4人が新たに入講。受講生は一年かけて、20種類以上の露地野菜栽培について座学・実習を通して学び、修了後は産直部会・作物別生産部会に所属する販売農家をめざします。また、昨年7月より「にしお農業塾」で学んできた8期生8人に対して、JAの都築清裕常務より修了証書が手渡されます。

■ 日程 ■

【日時】7月3日(金) 午前10時～

【場所】JA西三河 本店2階 第1会議室
(西尾市寄住町下田15)

【次第】

1. 開会の言葉
2. JA西三河常務 挨拶
3. 来賓紹介
4. 修了証書授与
5. 卒講生 挨拶 (代表で1名)
6. 講師、助手紹介
7. 入講生紹介
8. 閉会の言葉

※終了後、卒講生・新入講生の記念撮影を行います



修了証書の授与 (昨年7月)



講師を務める市川徹男先生 (前列中央) と8期生ら

今回卒講した8期生8人のうち
意欲的な4人がステップアップコースへ進み、
7期生1人を加えた5人が
上級者向けのステップアップコースで
野菜づくりを勉強します。



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河 (西三河農業協同組合)

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当: 尾形怜美

TEL: 0563-56-5214 担当者携帯: 070-1414-6818

HP: <http://www.ja-nishimikawa.or.jp/> Eメール: kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関に発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料 (ニュースリリース)」ページにも掲載しています。

JA西三河の新規就農者向け講座 ～地域農業の担い手育成めざして～

JA西三河は西尾市やJAあいち経済連などと協力して、新規就農を希望する人に向けた農業講座を開いています。

にしお農業塾

『にしお農業塾』は、原則67歳未満の西尾市在住の方を対象としたJA西三河と西尾市が行う新規就農者向け露地野菜栽培講座。期間は7月から翌年6月までの約1年間。座学や圃場での実習を通じて、ニンジン・ハクサイ・ブロッコリーといった冬野菜、トマト・ピーマン・ナスといった夏野菜など、約20種以上の幅広い品目の野菜栽培を学びます。

また毎年夏と冬には、地域の保育園児・小学生を招いて野菜の収穫体験会を開くことが恒例行事となっており、付近の福祉施設へ収穫した野菜を寄贈するなど、地域貢献活動にも積極的です。



市川徹男講師のもと毎週金曜日に開講

【実績】(2020年6月時点)

2012年7月に開講以来、今まで94人の修了生を送り出してきました。

そのうち39人がJAの産直部会や作物別生産者部会に所属する販売農家となっています。



約3か月にわたる収穫実習で「即戦力」を身に着ける



いちじくスクール

『いちじくスクール』は露地イチジク専門の新規就農者向け講座です。座学研修やいちじくスクール園地での管理・防除・収穫の実習を通じて、1年間かけてイチジクの栽培について学びます。

修了生の多くが、生産者部会であるJA西三河いちじく部会に加入。2019年度には同部会の**部会員51人のうち約2割をスクール修了生が占め**、年齢も大幅に若返り、産地の維持・拡大に貢献しています。



いちごスクール

『いちごスクール』は、西尾市で施設いちご栽培での就農を目指す方向けの新規就農支援プロジェクトです。

2019年5月に第1期を開校し、今年度は2期生として3人が入校しました。スクールでは、市内のイチゴ生産者の下で栽培技術などを習得する実務指導から、経営研修・農地取得・補助金申請などをセットに、新規就農希望者を立派な専門農家まで育成。専門農家として翌年秋からの本格出荷を目指しています。

また次年度以降も開校し、イチゴ産地・西尾の長期発展に向けて生産者を生み出し続けます。



イチゴ農家のもとで1年間研修